

(日曜火)

昭和四年四月六日 (四)

第三種郵便物認可 (第ニ千一號)

業方

温床育苗

(上)

青年技手の研究

宮城県伊具郡大張村の農會

技术百々茂源氏は昭和五年以

來冷害克服の爲め框を利用す

る稻苗の促成をはかつて早植

えしてゐたが昨年秋は最高三

石六斗の収穫を上げた、同地

方は阿武隈山脈の中腹にある

高冷地であるので百々技手の

成功は山間地帶の稻作の將來

に多大の希望を與へてゐる基

の方法は大体左記の如きもの

其れを述べて見よう、

稻苗促進框の材料は板石コ

ンクリートを用えた、

一反歩に用ひる稻苗の育成

框は巾四尺、長さ十八尺(一

三間)で後板の高さ一尺五

寸、前板の高さ九寸とした

即ち前後の差が六寸である

前を南面にして兩脇は前後

の斜差六寸をもつて南斜せ

しめる

框を覆ふ障子は温床の障子

と同様に巾三尺、長さ四尺

一寸七、八分、硝子よりも

安價な油紙を使用する方が

取扱ひに輕く且つ安全で經

濟である、

浸種と消毒はフォルマリン

五十倍液に三時間浸種し

たる後十分に水洗する、種

糸は布袋に入れて桶に浸し

十日間南面の場所で換水す

る、

厩肥料の催芽法、厩肥約一

尺ほどを積んで其の上に薬

をならべて其の上に糞を敷

いて湯度の生するときを見

て浸水から揚げた種糸を一

寸ぐらゐに擴げ糸をかけて

糞を覆ふて置く、

祝二千號

石城郡町村長會

石城郡銀行組合

三井榮一

東京市葛飾區立石

平町長

和洋銅鐵
金物問屋
金屋商店

電話九・九九番

早野貞平

北海道支部長
千代田生命保險會社
小樽市花園町西二ノ二六

石城郡大浦村長

木村清治

電話九・九九番

片倉

磐城

株式會社

電話八一・八三番

野崎彌藏

平町會議長

横山商店債券部

電話一七一番

入山

炭採

株式會社

縣會議員

内正一

石城郡山田村

平町會副議長